

※公募の詳細については、公募機関(AMED)のwebサイトで必ず確認してください。(H28.11.08現在)				
【H29年度日本医療研究開発機構(AMED)研究費】				
【公募締め切り・事業紹介リンク先】				
長寿科学研究開発事業		研究推進課学術調整係への提出期限 平成28年12月6日(火) (AMEDの期限は平成28年12月13日(火)正午【厳守】) ○提出方法:e-Rad(機関承認要)		
http://www.amed.go.jp/koubo/010420161107.html		※希望者には、先端科学・イノベーション推進機構(O-FSI)による提案書アドバイス等を行いますので、O-FSI(fsojimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)へ相談ください。		
【公募課題概要】				
	研究費(年間) (間接経費を含む)	研究期間	採択件数	公募する研究内容、求められる成果等
長寿科学研究開発事業				
1. 高齢者の誤嚥性肺炎等の予防・早期発見のための研究	15,000 千円程度	最長3年	0~2 課題程度	<p>【目標】 誤嚥性肺炎は高齢者における死因の上位である肺炎のうち一定の割合を占めているとされており、介護予防の観点からも早期の介入が重要な疾患と位置づけられる。このため、高齢者の肺炎における誤嚥性肺炎と口腔内細菌叢との関係性を明確にし、高リスク群をいち早く同定することを可能にする検査指標の確立、誤嚥性肺炎の予防に効果的なケア方法を開発する。</p> <p>【求められる成果】 高齢者の肺炎における誤嚥性肺炎と口腔内細菌叢との関係性を明確にし、高リスク群同定のための検査手法及び指標の確立、誤嚥性肺炎の予防に効果的なケア方法の開発を目標とする。</p>
2. 医療介護に係るレセプト等の情報連結に資する研究	18,000 千円程度	最長2年	0~3課題程度	<p>【目標】 高齢化社会が進展し、高齢者の医療介護需要が増加し続ける中で、医療と介護の両者を通じたライフサイクル全体での医療介護の質を高めていくことが重要である。しかし、現在、悉皆的な医療レセプトデータと介護レセプトデータは別運用となっており、医療と介護を通じたデータ分析を行うことができない状況にある。本公募では、医療介護情報を連結する方法の検証や、そのデータを用いてライフサイクルを通じた医療介護の地域差分分析等を行うことを目標とする。</p> <p>【求められる成果】 医療等IDの導入等も見越した上で、医療レセプトデータと介護レセプトデータ、特定健診等の多様な医療介護情報を(特にクラウド上で)連結するために合理的ロジックを複数提案し、有効なデータを作成するためのテーブルレイアウトの変換ロジックの構築、効率的かつ迅速なデータ提供体制のモデル構築等を提案する。また、実際に連結したデータを利用するユースケース等に関して調査を行う。例えば実際に特定地域のデータ等を利用することで、医療介護を通じたデータ分析の可能性を検証する。</p>
3. 地域診断等に係るデータツールの活用と地域課題抽出の促進を通じた地域マネジメント機能の強化に関する研究	20,000 千円程度	最長2年	0~2 課題程度	<p>【目標】 地域診断等に係るデータツール(見える化システム等)は徐々に浸透してきているが、一方で市町村職員・保健師等がそれを使いこなし、実際の業務遂行に活用することには困難が伴い、手助けが必要となっている。これらのデータツールの活用について、</p> <p>①実際に地域診断に有効なデータの作成 ②市町村が集めるべきデータの整理 ③地域診断に有効なデータの活用方法 ④作成したデータを用いた政策現場への提案方法等</p> <p>等を確立し、市町村職員等の支援を行うことで、地域課題の抽出を促進し、地域マネジメント機能を強化して、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムの構築を推進する。</p> <p>【求められる成果】 市町村職員が地域診断も含めて、地域マネジメントを行いやすくするような支援手法を開発・普及する。</p>

<p>4. 高齢者の自立度を測定する調査票を開発するための総合的研究</p>	<p>20,000 千円程度</p>	<p>最長3年</p>	<p>0~2 課題程度</p>	<p>【目標】 介護の目的は要介護者がそれぞれの能力に応じ自立した日常生活を営むことを支援することであるが、介護を必要とする度合として用いられている要介護度は、高齢者の自立度の実態と完全には一致しない。また、現在利用されているアセスメント様式はそれぞれの設問内容や定義が異なり、相互に比較することは困難である。本公募では、要介護状態に至らない高齢者及び要介護状態の高齢者の自立度の指標を同定・検証し、それに基づいた調査票の開発を行うことを目標とする。</p> <p>【求められる成果】 高齢者の自立度の指標を同定・検証し、それに基づいた調査票を開発する。調査票は以下の条件を満たすことが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の自立度の評価が可能であること ・対象者の自立度の変化が評価可能であること ・対象者間の比較が可能であること ・施設や集団ごとのベンチマークに利用可能であること
--	--------------------	-------------	-----------------	--